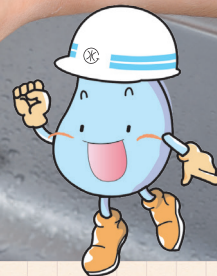


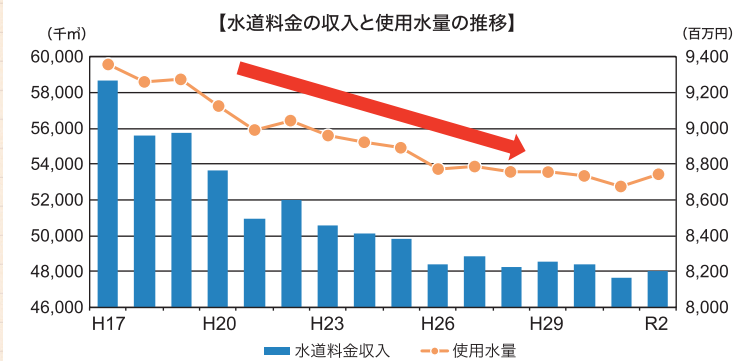
水道事業の 状況と課題をお知らせします



1

水道料金収入の減少

人口の減少や節水機器の普及により、水道の使用水量が年々減少しています。平成17年度に約92億円あった水道料金の収入は、令和2年度には、約82億円となり、**15年間で約10億円減少しました。**



2

老朽化する施設と水道管

水道施設は、**令和13年度に全施設の半分が**、水道管は、**令和21年度に全延長の半分が法定耐用年数を超える見込みです。**

※施設や水道管等の資産を適切に使用できる期間として法的に定められた年数



施設や水道管が
 どんどん老朽化
 していくんだね。



3

経費削減の取り組み

- ◎業務委託による人件費等の削減(10年間で約25億円の削減)
- ◎施設の統廃合による更新費用の削減(約100億円の削減)
- ◎広域化による補助金の活用
 (平成27年度～令和6年度までの10年間で約120億円の収入)

総額
**約245億円の
 費用の削減**

4

これからの課題

老朽化した水道施設や水道管は、漏水事故の増加や災害時に断水等の被害が拡大する恐れがあります。安全で安心な水をお届けするために水道施設や水道管の計画的な更新が必要です。今後、法定耐用年数で更新しようとする、**40年間で約5,490億円(1年あたり約137億円)の費用が必要となります。**

更新に必要な
 財源を確保することが
 大きな課題なんだね。



《お問い合わせ先》

群馬東部水道企業団 企画課 財務係 tel.0276-49-5355

太田市浜町11番28号 <https://www.gtsk.or.jp>

